

「汚染水を海に流さないで！」のハガキアクションの報告

昨年の秋に「これ以上海を汚すな！市民会議」の「汚染水を流さないで！」のハガキアクションに賛同し、練馬・石神井のステーションに来所される方々へハガキを書いていただく活動を始めました。ハガキの宛先は、福島県知事、大熊町町長、双葉町町長。福島第一原発事故により発生した汚染水の海洋放出に地元自治体として強く反対する姿勢を打ち出してほしいという願いを込めたアクションです。

前号のニュースで東京集会（@日比谷野音）での報告、その後「汚染水海洋放出に反対する市民の会」のハガキアクション（内閣総理大臣、経済産業大臣、東京電力社長宛て）にも協力中であることをお伝えしました。

2ステーションでの呼びかけにより合計 550 セット以上のハガキを投函できたことを確認しています。ハガキアクションの活動中、

「こんな活動もされているんですね」「HP を見てハガキを書きに来ました」「知り合いにも広めるので 3 枚ください」などたくさんの賛同者に会えることができ、私たちにとっても素晴らしい経験になりました。

残念ながら 8 月 24 日に汚染水（処理水）の海洋放出が開始されてしまい、以降ハガキアクションの呼びかけは行っていませんが、1 日も早く海洋放出をストップしてほしいので、今後は差し止め訴訟の応援などの協力をしていきたいと考えています。



「支援の日」の報告

元気力発電所では毎月 11 日を支援の日として当日の収入の 30% を NPO 法人福島こども保養プロジェクト@練馬に寄付しています。また、当日は同プロジェクトへの直接カンパも受け付けています。今年も 8 月 4 日～7 日に飯能で保養キャンプが実施されました。キャンプに役立てていただくために 7 月までの寄付金計 45,809 円を送金しました。キャンプの様子は同プロジェクトの FB ページをご覧ください。9 月以降の分は 3 月に送金する予定です。引き続き、ご協力をお願いいたします。

ステーション情報コーナー

練馬ステーションから……今年も「職場体験」を受け入れました

今年も 9 月 14、15 日で開進第二中学校の 2 年生の職場体験を受け入れました。事前のお願いの電話とあいさつでは緊張していた 2 人でしたが、体験が始まると「いらっしやいませ」「こんにちは」「ありがとうございます」と大きな声であいさつするので来所者から「あら、今年も若い子が来てるのね」と和やかな雰囲気になりました。

お願いした作業が終わるたびに「終わりました、次は何をしましょうか」と積極的に聞く姿に働く意欲を感じたとスタッフから報告がありました。

お天気が良かったので外にミニソーラーパネルとポータブル電源もだしてもらいました。2 人とも興味津々で「写真撮っていいですか?」「初めて実物を見ました」

「充電はどれくらいでできますか?」「どんなものに使えますか?」と質問がたくさんでました。「自然エネルギーの普及活動もしているんですね」と私たちの活動にも興味を示してくれた職場体験だったようです。今年も毎日来てほしいと思う生徒さんたちでした、ありがとうございました！（松尾）

